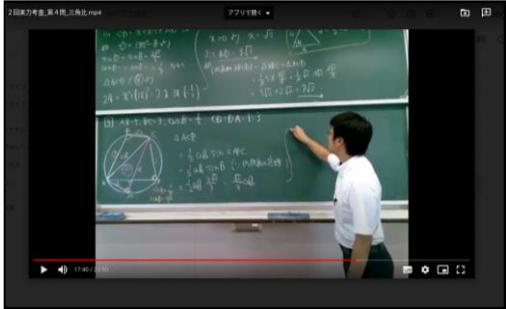


## 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立岡山朝日高等学校		
実践者等	難波忠彦	実践日	随時
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	数学Ⅰ・A・Ⅱ		
対象生徒(学年等)	第1学年全生徒		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	全単元		
使用したアプリ等	カメラ、Classroom		
実践の概要(ねらい等)	テスト問題の解説や重要例題を詳しく、何度も繰り返し見られるようにするとともに、教員の質問対応の負担を軽減する。		
<b>実践の内容</b>			
<p>1. 考査終了後に解説動画を配信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ早く配信することで、テスト終了後に動画を活用してすぐに解き直しをできるようにする。</li> <li>・採点した際に気になったことや、多かった誤答などについて解説する。</li> <li>・基本的には作問者が解説するので、出題の意図や問題の背景などについても言及できる。</li> <li>・繰り返し、自分のタイミングで動画が見られるので、考査が終わってすぐだけではなく、時間が経ってからでも復習に利用できる。そのために、ドライブに分かりやすく整理しておく必要がある。</li> </ul>			
			
<p>2. 重要例題の解説をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書には載っていないが重要な問題について解説する動画を撮影し、配信する。</li> <li>・進捗の関係で授業内では触れられない問題を動画で解説することで、圧倒的に多くの種類の問題に触れさせることができる。</li> <li>・通常なら質問に来る生徒が多く、その対応に追われるが、動画で配信すると少しの負担で多くの生徒の対応ができる。動画を見ただけでは理解ができなかった生徒はぜひ質問に来るようにと指導している。</li> </ul>			
			
参考となるHP等	<a href="http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/08/post-1846/">http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/2021/08/post-1846/</a> (総合教育センターによる本校の取組の取材記事)		